

① 墜落転落

安全帯、ヘルメットを着装せず 足場上で作業中、2.5m墜落

発生状況



船首部の船体吊り金具を交換中、手摺りのない足場上から2.5m下の船台上へ墜落した

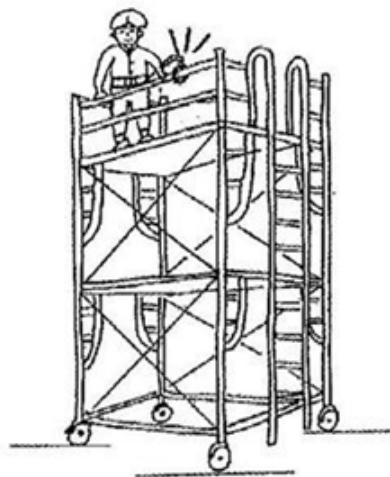
原因

- ✓ 墜落防止の手摺りがなかった
- ✓ 安全帯、ヘルメットを着装していなかった
- ✓ 墜落災害防止に関する指導が不十分だった



防止対策

- ✓ 墜落防止の手摺りを設置する
- ✓ ヘルメット、安全帯は必ず着装し使用する
- ✓ 足場に係る管理を強化し、保護具の使用を徹底させる



POINT!

墜落災害の防止は 手摺りの設置と安全帯の使用から！



DATA

発生年月日
2013.06.17

発生場所

船台

作業名・作業内容

船体吊り金具
交換

死傷病名

外傷性くも膜下
出血

職種

鉄工職

社/協

協力員

年齢

68才

経年数

46年

① 正しいかぶり方

真っ直ぐ深くかぶる。



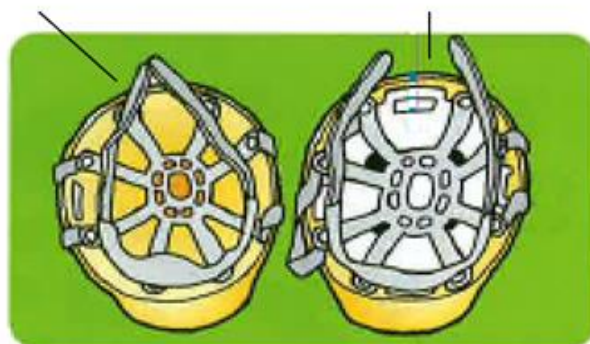
ヘッドバンドを
頭の大きさに
合わせて調整する。

あご紐をきちんと締める。
(指が一本入るくらい)

② 保護帽の種類

飛来・落下物用

墜落時保護用



衝撃吸収ライナー
(発泡スチロール)

保護具の着用管理責任者を定め
正しい着用を推進させましょう。